



2026年 もも病害虫防除暦

JA 中野市園芸課

回数	散布日	散布時期	散布薬剤（水100ℓ当り）		収穫前 使用時期	使用 回数 (以内)	散布量 ℓ/10a	対象病害虫 (発生病害虫)	注 意 事 項
1	月 日	発芽前	(水98ℓ) アブロードフロアブル 100mℓ キンセツ水和剤 80 100g スプレーオイル 2ℓ	14日前 開花直前 発芽前	3回 5回 —	300	せん孔細菌病 縮葉病 カイガラムシ類幼虫 ハダニ類	①【代替】キンセツ水和剤 80・アブロードフロアブルに代えて、石灰硫黄合剤の10倍（発芽前）でもよい。 * 石灰硫黄合剤は隣接するハウスビニールにかからないようにする。	
◆ せん孔細菌病対策：重要防除期間（開花直前 ～ 6月中下旬）の防除と併せて春型枝病斑の切除を徹底し、園地内の菌密度を減らす。									
2	月 日	開花直前	展着剤（アビオン-E） 50mℓ IC ボルドー412 3.3kg	—	—	350	せん孔細菌病 縮葉病	* せん孔細菌病対策 開花直前～6月まで、春型枝病斑の切除を徹底する。	
3	月 日	落花直後	展着剤（アビオン-E） 50mℓ サムコフロアブル 10 20mℓ パレード15フロアブル 50mℓ アグレプト水和剤 100g	前日 前日 60日前	2回 2回 2回		せん孔細菌病 黒星病、灰星病 うどんこ病 モモハモグリガ ハマキムシ類	①展葉後のボルドー散布は薬害を生じるため、散布時期を厳守する。 ②【代替】IC ボルドー412に代えて4-12 式ボルドー液でもよい。 ③アブラムシ類対策【落花直後の散布】 ウララDFの2,000 倍(14 日前、2 回)を加用する	
4	月 日	5月中旬 (前回から 10 日後)	展着剤（アビオン-E） 50mℓ モスピラン顆粒水溶剤 25g ストロビードライフロアブル 50g アグレプト水和剤 100g	前日 前日 60日前	3回 3回 2回		せん孔細菌病 黒星病、灰星病 うどんこ病 アブラムシ類 (モモハモグリガ) シンクイムシ類 カメムシ類	④アグレプト水和剤、アグリマイシン-100 等の使用回数は、合計で2 回までとする。尚、ぶどうにかかると種無し果を生じるため、飛散しないよう注意する。 ⑤ストロビードライフロアブルは、ぶどうにかかると薬害を生じる恐れがあるため注意する。	
5	月 日	5月下旬 (前回から 10 日後)	展着剤（アビオン-E） 50mℓ トレノックスフロアブル 200mℓ ダイアジノン水和剤 34 100g I C ジンク水和剤 100g	7 日前 前日 発病前～ 発病初期	5 回 4 回 8 回	500	せん孔細菌病 黒星病、灰星病 モモハモグリガ アブラムシ類 シンクイムシ類	①【代替】 ダイアジノン水和剤 34 に代えてハチハチフロアブルの 2,000 倍（前日、2 回）でもよい ②【代替】 I C ジンク水和剤に代えてマイコシールドの 1,500 倍（21 日前、5 回）でもよい。	
6	月 日	6月上旬 (前回から 10 日後)	展着剤（アビオン-E） 50mℓ アルバリン顆粒水溶剤 50g トレノックスフロアブル 200mℓ マイコシールド 66g	前日 7 日前 21 日前	3 回 5 回 5 回		せん孔細菌病 黒星病、灰星病 モモハモグリガ アブラムシ類 シンクイムシ類 カメムシ類	①カイガラムシ類対策 コルト顆粒水和剤の 2,000 倍(前日、3 回)を加用する。	
特別散布		6月中旬	マイコシールド 66g	21 日前	5 回	500	せん孔細菌病	せん孔細菌病多発園は、前回散布から 7～10 日後に今回の散布を行う	
7	月 日	6月中下旬	展着剤（アビオン-E） 50mℓ デランフロアブル 166mℓ オリオン水和剤 40 100g マイコシールド 66g	7 日前 14 日前 21 日前	4 回 2 回 5 回	500	せん孔細菌病 黒星病、灰星病 ホモブシス腐敗病 アブラムシ類 モモハモグリガ カイガラムシ類		
8	月 日	7月上旬	展着剤（ハイテンパワー） 10mℓ ナリアWDG 50g イカズチWDG 66g	前日 前日	2 回 5 回		灰星病、黒星病 ホモブシス腐敗病 シンクイムシ類 モモハモグリガ カメムシ類 アザミウマ類	①晩生種以降：せん孔細菌病対策 * 収穫前規制に注意する。 マイコシールドの 1,500 倍(21 日前、5 回)を加用する。 ②ナリア WDG はぶどう（ピオーネ、サニールージュ）、西洋梨ル・レクチェに薬害を生じるため、飛散しないよう注意する。	
9	月 日	7月中下旬 あかつき等 最終防除	展着剤（ハイテンパワー） 10mℓ マイトコーネフロアブル 100mℓ オンリーワンフロアブル 50mℓ エクシレルSE 20mℓ	前日 前日 前日	1 回 3 回 3 回		灰星病、黒星病 ホモブシス腐敗病 ハマキムシ類 シンクイムシ類 モモハモグリガ ケムシ類、ハダニ類	★有袋品種は除袋後に散布する。	
10	月 日	8月上旬 なつっこ等 最終防除	展着剤（ハイテンパワー） 10mℓ ベルクートフロアブル 50mℓ テルスターフロアブル 33mℓ	前日 前日	3 回 2 回		灰星病、黒星病 ホモブシス腐敗病 シンクイムシ類 カメムシ類 (アザミウマ類)	★有袋品種は除袋後に散布する。 ①ハダニ類対策 ダニオーテフロアブル 2,000 倍（前日、1 回）を加用する。 ②カイガラムシ類対策 除袋後の散布にコルト顆粒水和剤の 2,000 倍(前日、3 回)を加用する。	
11	月 日	8月中下旬 川中島白桃等 最終防除	展着剤（ハイテンパワー） 10mℓ モスピラン顆粒水溶剤 50g オーシャインフロアブル 50mℓ	前日 前日	3 回 3 回		灰星病、黒星病 ホモブシス腐敗病 アザミウマ類 カメムシ類 シンクイムシ類	★有袋品種は除袋後に散布する。 ①第 11 回アザミウマ類対策 ディアナ WDG の 10,000 倍（前日、2 回）を加用する。	
12	月 日	9月上旬 白根白桃等 最終防除	展着剤（ハイテンパワー） 10mℓ ベルクートフロアブル 50mℓ イカズチWDG 66g	前日 前日	3 回 5 回		灰星病、黒星病 ホモブシス腐敗病 シンクイムシ類 カメムシ類 アザミウマ類		
極晩生種 特別散布			【殺菌剤】オンリーワンフロアブル 2,000 倍（前日、3 回） 【殺虫剤】アルバリン顆粒水溶剤 2,000 倍（前日、3 回）を散布する。						
13	月	収穫後	展着剤（アビオン-E） 50mℓ			500	せん孔細菌病	①ダイアジノン水和剤 34 は、1 回目の散布のみ使用する。	
14	月	9月上中旬	IC ボルドー412 3.3kg	—	—		カイガラムシ類 アブラムシ類	②【代替】IC ボルドー412 に代えて、ムッシュボルドーDF の 500 倍（開花前まで）を使用してもよい。	
15	日	～ 3 回散布	ダイアジノン水和剤 34 100g	前日	4 回		ハマキムシ類 シンクイムシ類	③コスカシパ対策フェニックスフロアブルの 4,000 倍（前日、2 回）を樹幹及び主枝に十分かかるように散布する。	

【安心・安全な農産物生産のために使用基準を厳守しましょう】

混用例：展着剤⇒液剤⇒乳剤⇒顆粒水溶剤⇒水溶剤⇒フロアブル⇒ドライフロアブル（DF）⇒顆粒水和剤（WDG）⇒水和剤

当防除暦の複製・コピーを禁止します